

**kakizaki**

送信者: "kakizaki" <kkp0206@view.ocn.ne.jp>  
宛先: <nosei@pref.hokkaido.lg.jp>  
送信日時: 2011年11月27日 12:20  
件名: 知ろう！守ろう！わたしたちの北海道農業  
北海道農政部農政課 様

前略

過日11月26日(土)午前、札幌駅前通地下歩行空間にて、貴職の「知ろう！守ろう！わたしたちの北海道農業」のティッシュの配布がされていたので、通りかかった私は、受け取らせていただきました。

その折に、配布されていた職員のお一人に、私は「北海道の農業を守るためには、TPPにはぜひ反対しなければなりませんね」と問いかけました。

問われた職員の方は、とっさの予期せぬ問いかけからか、「農政部のホームページ」をご覧ください以外の答えがありませんでした。

歩行空間の利用規約を総合的に判断すると政治的表現は制限されていると思いますが、しかし北海道の農業を守ること、そのためにはTPPは認められないことは、道民の切実な願いであり、あなたが政治的なこととして、歩行空間という場であっても、全面的に排除すべきものではないと思います。

私の解釈では「知ろう！守ろう！北海道農業」の貴職のティッシュ配布の目的はTPP問題を含む北海道農業の課題提起のほうだと思います。そうでなければこの活動の意味は限りなく徒労になると思います。

そうは言っても、私は地下空間の通行人に聞き取られるような大きな声で問いかけてはおりません。いかに利用規約があっても少なくとも「ご意見として伺います」とか「道として農政部としてあなたのご意見と同趣旨の考え方を持っております」ぐらいの返答ができる職員あるいは農政部集団であってほしいです。とても残念に思いました。

農政部のホームページを拝見しましたが、「TPP協定をめぐる状況」の文書の5番目の○で、「道では、道民合意がないまま、TPPの参加を決して行わない旨の要請を実施してきた。」と述べているではありませんか。

ティッシュ配りの趣旨はちがうという言い方もあるのかもしれませんが、せつかくの現場での問いかけにこたえることが、この活動を道民とともに進めようとする農政部の前向きな方針に資する小さいけれど確かな一歩になるのではありませんか。道当局および農政局と道民の結びつきがとても大切ではありませんか。

最後のお願いですが、ぜひメールにご見解のご返答をいただければ、大変うれしく思います。長文で申し訳ありませんでしたがよろしくお願い申し上げます。

[kkp0206@view.ocn.ne.jp](mailto:kkp0206@view.ocn.ne.jp) (札幌市在住)

**kakizaki**

---

送信者： <namikawa.toshikazu@pref.hokkaido.lg.jp>  
宛先： <kkp0206@view.ocn.ne.jp>  
送信日時： 2011年11月28日 16:51  
件名： Re:知ろう！守ろう！わたしたちの北海道農業

日頃より、道農政の推進に御理解いただいておりますことに感謝申し上げます。  
さて、去る11月26日に地下歩行空間で実施したティッシュ配付に関して、貴重な御意見をいただきありがとうございます。

今般のティッシュ配付は、WTO農業交渉やTPP協定交渉等の動きを踏まえ、道民の皆さまの北海道農業・農村に対する理解の促進を目的に進めている事業として実施しているものです。

この事業は、国の雇用促進に係る事業を活用していることから、事業の実施に当たっては、民間の受託事業者がハローワーク等を通してより多くの職を求めている若者等を雇用することとしております。

道では、受託事業者に対して本事業の趣旨等について説明をしていたところですが、徹底が不十分であったことから、対応した雇用者が、貴方からのお声かけに、適切に対応できなかつたものと考えております。

つきましては、今回いただきました御意見を参考に、受託事業者と打合せの上、今後の対応について改善を図りたいと考えていますので、御理解いただけますようお願いいたします。

御指摘いただいたとおり、道といたしましては、道民の皆さまとの結び付きを大切に、業務を進めたいと考えていますので、今後とも御理解・御協力を御願ひします。

平成23年11月28日

北海道農政部農政課政策調整担当課長 田辺利信